

2024年9月

第168号

# ぱれっと



(株)北日本ベストサポート  
Tel. 018-883-1888

## 「感動のパリ・オリンピック」

コロナ禍の影響により無観客の開催だった東京オリンピックから3年、今回のパリ・オリンピックは世界のアスリート達が集うスポーツの祭典として、大いに感動と勇気を与えられた大会となりました。パリでは100年ぶりの開催とのこと、さすがフランスと言ったらよいのか、夏のオリンピック史上初めてスタジアム外での開会式。パリ市内を流れるセーヌ川で各国選手団が船に乗ってのパレードから始まりました。

日本のメダル獲得状況は、金メダルの多い順・メダル獲得数の順で比較すると、アメリカ、中国について3位、金メダル 20、銀メダル 12、銅メダル 13 と海外で開催された大会での金メダル・メダル獲得数ともに過去最高となりました。

日本の金メダル第一号は女子柔道 48kg 級の角田夏実選手でした。角田選手は元々 52kg 級の選手でしたが 31 歳で減量し、一階級軽い階級に挑み五輪代表の座をつかみ、得意の巴投げと寝技で他を寄せ付けず金メダル一号となり、日本のメダル量産に弾みをつけ、遅咲きのヒロインと言われています。日本の男子体操団体では最後の種目「鉄棒」を残した段階で、中国に 3 ポイント以上の大差をつけられていました。日本の金メダルは絶望的と思われた中でも、選手達は決して諦めていませんでした。「つなぐ」「絶対にあきらめない」ことを申し合わせ、ほとんど完璧な演技を行いました。それに対して中国に思わぬミスが出て逆転で金メダルに輝いたのです。逆転劇ではスケートボードで男子ストリートの堀米雄斗選手もラスト一回を残し 7 位と絶体絶命、最後のトリックで起死回生の大技に成功、逆転で 2 大会連続の金メダルに輝きました。「1%の可能性を最後まで信じてやった」という執念とこれまで培ってきた努力が報いられたといえるでしょう。

女子レスリングは圧倒的強さで金メダルを量産し、フェンシング男子フルーレ団体も金メダルに輝き、また、陸上女子やり投げで北口榛花選手が日本人では初の金メダルに輝きました。男子馬術団体で 4 人の平均年齢が 41.5 歳「初老ジャパン」と名乗って初めてメダル獲得となりました。

秋田県関係の出場選手は 4 名でしたが、バドミントン女子ダブルスで八郎潟出身の志田千陽選手が銅メダル獲得、北都銀行員の永原・松本組はメダルに届きませんでした。女子マラソン大仙市出身の鈴木優花選手は今回で 4 回目自己最高を更新し見事 6 位入賞を果たしました。女子水泳 100 メートルバタフライで池江選手は決勝進出の目標を達成できず「これまでの努力は何だったんだろう、頑張ってきた意味があったのか」と苦しい胸のうちの吐露。白血病を克服し努力を積み重ねてきた姿には金メダル以上の価値があり我々応援している者に十分すぎる感動と勇気を与えてくれました。

## 努力を続ける

ニーチェの言葉

高みに向かって努力を続けることは、決して無駄ではない。

今は無駄が多くて徒労のように見えるかもしれないが、少しずつ頂点へと進んでいるのは確かなのだ。

今日はまだ到達にはほど遠いだろうが、明日にはもっと高みへと近づくための力が今日鍛えられているのだ。

【漂泊者とその影】



## 反対する人の真理

ニーチェの言葉

提示されたある案に対して反対するとき、よく考え抜いたうえで確固とした根拠があって反対する人はごく少ない。

多くの人は、その案や意見が述べられたときの調子とか言い方、言った人の性格や雰囲気に対して反発の気分があるから、反対するのだ。

このことが分かれば、多くの人を味方にできる方法が何かがおのずと知れてくる。

表現の方法、説得の仕方、物言いの工夫という技術的なものも確かにあるだろうけれども、それらの上には、技術では及ばないもの、つまり、意見を述べる人の性格や容姿、人柄、生活態度などがあるということだ。

【人間的な、あまりに人間的な】



## 勉強はよく生きることの土台となる

ニーチェの言葉

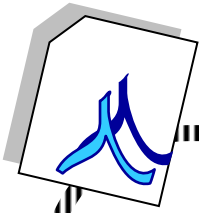
たとえば、与えられた約束をよく理解して守り続けるためには、十分な理解力と記憶力が必要になる。この理解力と記憶力は、鍛錬されて獲得できる知性の一部だ。

相手に対して、あるいは遠くの誰かに対して同情を持ちうるためには、十分な想像力が必要となる。想像力もまた、知性の立派な一部だ。

こういうふうにして、人間的な倫理や道徳というものは、知性と強く結ばれている。そして、知識のない知性というものはありえない。

したがって、何の役にも立たなそうに見える今の勉強ひとつでさえ、自分が人間としてよく生きていくことの土台となっていくと言えるのだ。

【人間的な、あまりに人間的な】



## 杉田 玄白 (江戸時代の蘭学医)

享保18年9月13日(1733年)	江戸、牛込の小浜藩の下屋敷で小浜藩医杉田甫仙の三男として生まれる。難産で出産の際に母は死亡。(小浜は現在の福井県)
元文5年(1740年)	8歳のとき小浜へ移る。1745年まで小浜で過ごした。
延享2年(1745年)	家業の医学修行を始める。医学は奥医の西玄哲、漢学は古学派の儒者宮瀬龍門に学ぶ。
宝暦3年(1753年)	小浜藩に5人扶持で召し出され小浜藩医となり、上屋敷に勤める。
宝暦4年(1754年)	国内初の人体解剖。これにより蘭書の正確性を証明、日本の医学会に波紋を広げる。
宝暦7年(1757年)	小浜藩に籍を置きながら日本橋に町医者を開業する。
宝暦7年7月(1757年)	江戸で本草学者の田村元雄や平賀源内・中川淳庵など蘭学者グループとの交流始まる。
明和2年(1765年)	藩の奥医師となる。
明和8年(1771年)	オランダ語医学書「ターヘル・アナトミア」を藩に相談し購入。
安永3年(1774年)	同書を翻訳し「解体新書」として刊行。将軍家に献上。晩年には回想録として「蘭学事始」を執筆。
文化2年(1805年)	11代将軍徳川家斉に拝謁、良薬を献上。
文化14年(1817年)	死去。享年83歳。
明治40年11月15日	贈正四位。

### オススメの BOOK



#### 「人生を照らす禅の言葉」

作者 横田 南嶺 発行 致知出版社

著者は昭和39年和歌山県生まれ。筑波大学卒業。在学中出家得度し、平成22年臨濟宗円覚寺派管長に就任。

本書は致知出版社が毎月、人間学を学ぶ月刊誌として発行している「致知」に連載されている「禅語に学ぶ」より禅の極意、人生の智慧として発行されたもの。平易に禅の初歩を解説し人生の指針を示している。

## まだ間に合う！値上げ前にご相談を・・・

2024年10月に火災保険の改定が実施されます。主なポイントは下記の2つです。

### ① 火災保険料の値上げ（一部値下げ）

損害保険各社でつくる損害保険料率算出機構は2023年6月28日、個人向け火災保険料の目安となる「参考純率」を全国平均で13%上げると発表しました。相次ぐ自然災害で保険金支払いが急増していることや、資材価格上昇・人件費上昇による修理費高騰を反映した形で、引き上げは直近6年間で4度目となり、引き上げ幅は過去最大となります。

### ② 水災補償に対する保険料を水災リスクに応じた5段階に細分化

今回の改定では水災リスクの違いによる公平の観点から水災補償に対する保険料が水災リスクに応じた5段階に細分化されました。

#### 2023年6月届出 火災保険参考純率改定 都道府県別等地別の改定率の例（H構造）

※ 本資料に記載の数値は参考純率における改定率であり、実際に保険契約者の方が契約される

保険会社の保険商品の改定率とは異なりますのでご注意ください。

<保険金額：建物2,000万円 家財1,000万円、築10年以上の例>

※各都道府県において、該当する市区町村がない場合は「-」とした。

水準の改定のみ		水災料率を細分化	水災等地別の改定率				
都道府県	改定率		改定率				
			1等地	2等地	3等地	4等地	5等地
青森県	9.50%	青森県	3.90%	7.10%	10.60%	14.50%	-
岩手県	9.20%	岩手県	2.00%	6.10%	10.60%	15.60%	21.00%
宮城県	7.20%	宮城県	▲0.8%	3.70%	8.70%	14.30%	20.60%
秋田県	12.10%	秋田県	6.50%	9.70%	13.20%	17.10%	21.50%
山形県	9.60%	山形県	4.00%	7.10%	10.70%	14.70%	19.00%
福島県	7.30%	福島県	▲0.6%	3.90%	9.00%	14.50%	20.70%

出典：損害保険料率算出機構 2023/6/28火災保険参考純率改定のご案内

弊社では加入中の火災保険のご説明はもちろん、複数保険会社の火災保険についても無料でお見積もり・ご相談可能です。

#### 【編集後記】

今回、平和の祭典オリンピックについて振り返ってみて間違いなく多くの人達に感動と勇気を与えてくれたと思っている。

一方で、ロシアは前回のドーピング問題の他、ウクライナとの戦争で国としての参加が見送られた。イスラエルとヒズボラの戦争も続いている。

人間同士が都市を破壊し、人命を絶っている。人の命がこんなに粗末に扱われているのだろうか、賢くならなければなせない人間の世界が、逆転現象を起こしているように錯覚する。本当の平和が早く訪れる事を望む。